

戦うイエス

シリーズ～新イエス～

2025/1/26

シリーズ「新イエス」の目的

- イエスを**知る**

- これまでの「イエス像」を刷新し、新しい「イエス像」を構築する

- イエスを**体験する**

- 実生活の中で、共におられるイエスを体験して欲しい

- イエスの**ようになる**

- イエスを体験することによって変えられ、イエスようになることを目指す
- 個人として、そして教会全体として

イエスを知るには

姿

性格

行動

言葉

教育

信仰

マタイ福音書4章1～11節

さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、“霊”に導かれて荒れ野に行かれた。そして四十日間、昼も夜も断食した後、空腹を覚えられた。すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」イエスはお答えになった。「『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」

次に、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて、言った。「神の子なら、飛び降りたらどうだ。」

『神があなたのために天使たちに命じると、あなたの足が石に打ち当たることのないように、天使たちは手であなたを支える』と書いてある。」イエスは、「『あなたの神である主を試してはならない』とも書いてある」と言われた。

更に、悪魔はイエスを非常に高い山に連れて行き、世のすべての国々とその繁栄ぶりを見せて、「もし、ひれ伏してわたしを拝むなら、これをみんな与えよう」と言った。すると、イエスは言われた。「退け、サタン。『あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ』と書いてある。」そこで、悪魔は離れ去った。すると、天使たちが来てイエスに仕えた。

石をパンに変える誘惑

- 悪魔の誘惑を受けるために荒れ野に導かれたイエス
 - バプテスマのヨハネから洗礼を受けた直後
 - 公生涯を始める前の「最終試験？」
- 40日間の断食の後の誘惑
 - 悪魔は「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」と誘惑した
 - 神の力を自分のために使わせようとした
- イエスは聖書の言葉によって退けた
 - 「『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」<申命記8:3

エデンの園のやり直し

• 人類最初の罪

- アダムは空腹でもなく食べ物が十分にあるのに食べてはならないと命じられた木の実を食べた

• イエスは極限の状況で悪魔に勝った

- あえて40日間の断食の後に誘惑を受けた
- いうなれば究極の「**ハンデ戦**」である！
- これは人類史のやり直しである

• 悪魔の誘惑に勝つ方法を教えてくださった

- 悪魔を追い払うことなど容易いはずだった
- 私たちに見本を示すために御言葉を用いた

神の力を試す誘惑

- 最初の誘惑に失敗した悪魔は、今度は御言葉を悪用して誘惑する
 - 「神の子なら、飛び降りたらどうだ。『神があなたのために天使たちに命じると、あなたの足が石に打ち当たることのないように、天使たちは手であなたを支える』と書いてある。」(詩編91:11-12)
- それに対してイエスも御言葉を用いて退けた
 - 「『あなたの神である主を試してはならない』とも書いてある」(申命記6:16)
- 聖書の言葉であっても悪用すると間違った教えになる
 - 悪魔は聖書も熟知している 例: 異端

全世界を与える誘惑

- 悪魔は最後に捨て身の作戦に出る

- 「この国々の一切の権力と繁栄とを与えよう。それはわたしに任されていて、これと思う人に与えることができるからだ。だから、もしわたしを拝むなら、みんなあなたのものになる。」ルカ4:6, 7

- イエスはここでも御言葉によって退ける

- 「退け、サタン。『あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ』と書いてある。」(申命記6:13)

- 自分に従わせることが悪魔の最終目的

- 権力や繁栄のためになら何でも拝む人間

ここで一旦イエスに対する攻撃をやめる悪魔

悪魔による最後の攻撃

- 悪魔はイエスを殺すことを目指す

- 荒れ野での戦いに敗れた悪魔は反撃のチャンスを狙っていた
- 律法学者や祭司長らがイエスを殺そうとしていることを知り、これを利用することにした

- 弟子のひとりに目標を定めた

- イスカリオテのユダはイエス一行の金入れを預かっていて、金が大好きだった！
- 「彼は盗人であって、金入れを預かっていながら、その中身をごまかしていた」ヨハネ12:6

イエスを裏切ったユダ

• 自ら師を売りに行ったユダ

- 「十二人の中の一人で、イスカリオテと呼ばれるユダの中に、**サタンが入った**。ユダは祭司長たちや神殿守衛長たちのもとに行き、どのようにしてイエスを引き渡そうかと相談をもちかけた。彼らは喜び、ユダに金を与えることに決めた。」ルカ22:3-5

• 「接吻」で師を裏切ったユダ

- 「イエスがまだ話しておられると、群衆が現れ、十二人の一人でユダという者が先頭に立って、イエスに接吻をしようと近づいた。」22:47
- 悪いことをしている意識が乏しい

なぜユダはイエスを裏切ったのか？

•ユダの思い込み

- イエスは何も悪いことをしていないどころか、人々から預言者と呼ばれるほどの人物であり、偉大な奇跡をさえ起こしていたので、おそらく引き渡してもすぐに解放されると思っていたのでは

•ユダの誤算

- 「そのころ、イエスを裏切ったユダは、イエスに有罪の判決が下ったのを知って後悔し、銀貨三十枚を祭司長たちや長老たちに返そうとして…」
マタイ27:3
- まだ十字架刑が決まる前だったが、自分が取り返しのつかないことをしたことに気づいた

ユダの後悔

•ユダの反省

- 「『わたしは罪のない人の血を売り渡し、罪を犯しました』と言った。…そこで、ユダは銀貨を神殿に投げ込んで立ち去り、首をつって死んだ。」
マタイ27:4

•悪魔の勝利宣言

- 「同じように、祭司長たちも律法学者たちと一緒に、代わる代わるイエスを侮辱して言った。『他人は救ったのに、自分は救えない。メシア、イスラエルの王、今すぐ十字架から降りるがいい。それを見たら、信じてやろう。』」マルコ15:31-32

イエスの完全勝利

•死から復活したイエス

- 「婦人たちが恐れて地に顔を伏せると、二人は言った。『なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。』」ルカ24:5-6

•かかとを砕いたが頭を砕かれた悪魔

- 「お前と女、お前の子孫と女の子孫の間に／わたしは敵意を置く。彼はお前の頭を砕き／お前は彼のかかとを砕く。」創世記3:15
- 悪魔はイエスが復活するとは思っていなかった

イエスの戦い

- イエスは悪魔(サタン)と戦うためにもこの世に来られた

- 人類が連戦連敗してきた相手と戦い、また戦い方を教えるために

- 悪魔の能力

- 人間の弱さを熟知している

- イエスが神の子であることも御言葉も知っている

- 悪魔の限界

- 未来を予測できない

- 神の計画を知らない

イエスは悪魔のもくろみを逆手にとって神の計画を成し遂げられた！

「あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」

ヨハネ福音書16章33節